

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 愛成会	代表者	平本 敏	法人・ 事業所 の特徴	平成28年4月に開設しました。法人理念である「愛生相和」の元、互助と感謝の気持ちを常に忘れずに、利用者が住み慣れた地域での生活を継続できるようにサービスを提供することを心がけています。法人内の他事業所で行なわれているドッグセラピーや居酒屋イベント、夏祭りにも参加するなど交流も行っています。
事業所名	咲くや愛成	管理者	塚田 淳一		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	1人	1人	人	1人	2人	人	1人	人	6人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認			<ul style="list-style-type: none"> ・事業所全体で取り組んでいることが理解できた。 ・正直あまりよくわからない部分もあるが、今後とも健全な運営に取り組んでもらいたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・開設初年度の為、手探りの状態であったので、来年度は小規模多機能に対しての職員の理解を深めて行く。
B. 事業所のしつらえ・環境			<ul style="list-style-type: none"> ・明るくて、きれいな建物で清潔感があって良い。スペースも広く居心地が良さそう。 	
C. 事業所と地域のかかわり			<ul style="list-style-type: none"> ・小学生との交流があるのが良い。今後も継続してもらいたい。 ・地域とのかかわりを今後は積極的に取り組んでもらいたい。 ・町内会と防災協定を締結し、災害時には協力する体制が作られている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ケアプラザと協力して、来年度中に認知症カフェの開催を目指す。 ・地域行事への積極的な参加や地域資源を活かした取り組みを行って行く。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み			<ul style="list-style-type: none"> ・施設のある町内会の民生委員だけでなく、各利用者の在住地域・町内会の民生委員との連絡・協力体制を整えてはどうか。 ・社会資源との接点や交流の機会をケアプラザでも積極的に発信や機会を設ける取り組みを行ってゆきます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアプラザや民生委員との連絡・協力体制を構築し、地域包括ケアを行なう為の体制作りを進めて行く。 ・外部との交流の機会を前年度よりも多く設ける。 ・利用者本人の状態の把握だけでなく、在住している地域の情報、社会資源などについての理解を

				深める。
E. 運営推進会議を活かした取組み			<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議の場において地域との情報交換や地域の実情を知る為の物になると良い。 ・活動状況や、施設の内情を知る良い機会になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議において、介護に関する情報や交流の機会の発信を積極的に行なっていく。
F. 事業所の 防災・災害対策			<ul style="list-style-type: none"> ・この地域は水害や、土砂災害の指定区域からは外れているので、それ以外の災害に対する対応をしっかりと行なってもらいたい。 ・町内会の防災訓練に参加していて、防災協定も締結している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・法人の事業継続計画に則り、事業所としての事業継続計画を策定し非常時に備える。 ・町内会との防災協定を密にするために相互で防災訓練に参加出来るように日程調整をし、消防の協力を得て防災訓練を実施していく。